

参加費
1,000円
プレゼンターに
分配！

地域のつながりとビジネスアイデアの創出を応援！ 第2回 地域クラウド交流会

企画財政課 ☎25-1101 AsMama ✉info@asmama.co.jp

第1回 参加プレゼンターの声



夢を語って、ちょっと
恥ずかしいと思ってました。
今回、そんな想いをまっす
ぐ応援してくれる鳥羽の大
人に出会えて、本当に嬉し
かったです！

(優勝 齋藤勇太さん)

新しい人脈やビジネスコラボレーションが生まれる

7月に開催した前回の交流会には、総勢61人が参加しました。鳥羽の起業家やビジネスアイデアを持ったプレゼンター5人と参加者とが直接つながり、新たな出会いと応援の輪が広がりました。参加費を投票数に応じて分配し、資金応援と地域経済活性を両立するしくみです。みなさんの人脈づくりや事業PRにも絶好の機会です。今回もたくさんの参加をお待ちしています！



あなたは誰に投票する？

プレゼンター続々決定！

詳細・参加予約は特設サイトへ

と き：9月24日(水) 午後7時～9時

ところ：鳥羽商工会議所 (かもめホール)

<https://asmama.jp/toba20250924/>



クラウド勉強会 (午後6時～参加無料)、アフター交流会も！

乾燥して小さく黒くなり、乾いた泥に紛れて探しにくくなっているだけなの。
イシクラゲの



雨の後などに湿ったワカメのような外見で地面に現れる



乾燥すると草陰などの泥にまぎれて目立たない

今回紹介するのは海藻でもなければ植物でもない。イシクラゲという生物だ。梅雨時期に目立つからか、駐車場を管理しているかたなどから時々「地面から何かワカメみたいなものが生えてきたけど、あれは何？」と問い合わせがある。雨の後に地面の上にワカメのようなブヨブヨしたものが撒かれたように大発生しているのを見たことがある人も多いのではないだろうか。そしていつの間にか消えているように見えるアレである。消えているわけではなく、

学名はノストロク コムネとい、シアノバクテリアというバクテリア(細菌類)の仲間であり光合成をすることができ。シアノバクテリアは地球に酸素を大量にもたらした最初の生物としても有名である。藍藻とも呼ばれ伝統的に藻類としても扱われてきたが、藻類や陸上植物とはまったく違う系統の生物である。乾燥に大変強く、体が乾き始めるとトレハロースを作り、そのトレハロースが細胞を乾燥から保護する。また紫外線にも大変強い。80年前から乾燥したままのイシクラゲに水を与えると、増殖したとの報告がある。滋賀県では「姉川くらげ」と呼ばれ天ぷらや酢の物にして食べられていたが、今ではほとんど食べられていない。ただし、そのあたりの地面に落ちているイシクラゲは、洗っても石や泥が取れず衛生的とは言えないので、食べることはおすすめしない。

鳥羽・海藻文化革命
岩尾博士の
海藻博物記

vol.42

～イシクラゲ～

水産研究所 ☎25-3316

